



た なか かず よし
田 中 千 福



けん と
京都クラブ

森林経営管理制度の趣旨と期待される効果は

問 長期的な林業の低迷や森林所有者の世代交代などにより、森林に対する関心が薄れ、森林の適切な経営管理が行われず、災害や地球温暖化の防止など森林が持つ公益的機能の維持増進に支障が生じることが懸念されている。さらに、所有者不明や境界不明確などの課題もある中、森林経営管理制度がスタートしたが、制度の詳細と期待される効果とはどのようなものか。

森林管理の適正化と林業経営の効率化を図る

答 森林所有者に対して森林に係る経営管理意向調査を行い、経営管理しないとされた森林については、市町村が経営管理の委託を受けることで、森林の適正維持を図るものである。また、経営管理を委託された市町村は、自ら森林を経営管理するだけでなく、意欲と能力のある林業経営者に再委託することで、林業経営の効率化や経営規模の拡大、雇用の安定を図るものである。

令和元年度より芸濃地域の経営管理意向調査に着手しているが、来年度以降、森林面積の大きい地域から順次この調査に着手し、できる限り早く森林整備に取り掛かれるように努めている。

●その他の質疑・質問●

- 令和版営農会議について
- 学校における働き方改革に関して、業務改善および勤務時間管理等に係る取り組みについて
- 学校における交通安全教育について
- 災害対策基本法に基づく、避難行動要支援者について
- 市道白山・芸濃線（通称グリーンロード）の全線舗装計画について



▲森林経営管理制度によって整備される津市の森林



かつら さん ばつ
桂 三 発



いちごいちえ
一期一会

これで良いのか、地域懇談会

問 地域懇談会も最初の頃は大きな課題もあったと思うが、最近の地域懇談会では、課題という名の要望が多いと感じる。

例えば、開催回ごとに、参加者を同じ職種の人にするとか、旧安芸郡および旧一志郡でも旧津市のように小学校単位で地域懇談会をするなどしてはどうか。

また、今後は未来を話せる地域懇談会にすべきであると思うが、どうか。

今後も現在の手法で継続していきたい

答 現在の地域懇談会は「生の声を聴くために懇談内容に制限を設けない、地域の課題や現状を先入観なしにフラットに伺う」というコンセプトを持って実施していることから、10年後20年後の将来を見据えた大きな課題についても、日常生活の上での課題についても、全部聴き取っている。その上で、問題解決のため、課題別に努力している。

地域別の課題については、総合支所が日々捉えており、また、自治会連合会長、民生委員、地区社協の方々など日常的に話を聴く機会もあり、十分カバーできると考えており、今後もこのやり方で継続していく。

●その他の質疑・質問●

- マイ・タイムラインについて
- 大災害におけるボランティアの受け入れについて
- 触るハザードマップについて
- おくやみ窓口の設置について
- 中学校の部活動と地域スポーツについて



▲触るハザードマップ